



医師



耳鼻咽喉科の新外来体制について

耳鼻咽喉科部長 安藤 篤

今年の夏は暑さが大変厳しく、体調を崩されている方もいらっしゃるかと思います。ぜひ、お体に気をつけて下さい。

さて、ご存知の方も多いとは思いますが、当院の耳鼻咽喉科の発展に長年ご尽力された正木元副院長がこの4月に退職されました。また、7月末に矢野原医師が退職しました。ここ数年は医師の異動が多く、皆さんから「すぐ先生が変わる。」とお叱りを受けておりました。ご迷惑をおかけして、申し訳ありません。現在は、私(安藤)、佐藤、佐野、岡崎、中村の5人体制です。私たち5名で、新生中部ろうさい耳鼻咽喉科として、正木元副院長の伝統を引き継ぎ、より皆さんに役に立つ耳鼻咽喉科を目指していきたいと考えております。

今までの一番の変更点は、外来診療になります。従来は外来の担当医が、一部の外来枠を除いて固定していませんでした。緊急手術などの特段の事情が無い限りは、曜日により外来担当医が固定となりました。それに伴い、患者さんからの「毎回診察する医師が違うので、そのたびに病状説明が大変」というご不満に関しては、解消できると考えております。また、今までは体調が悪いために予約外で受診される方や

初めて受診される方を予約の合間に診察していました。現在は初診・予約外担当医が診察するため、今までと比べて診察の待ち時間が短くなりました。しかし、光には影が付き物です。今まで当科では好きな曜日に予約が取れましたが、今後は、原則、担当医の曜日をお願いすることとなります。また、予約の枠が制限されるため希望の日に予約が取れない場合がありますので、なにとぞご容赦ください。

今まで通院されていた患者さんは、ベテランの正木元副院長が退職されたため大丈夫かしらと心配かと思っております。しかし、御心配は無用です。

現在、安藤と佐野は、主にのどや口の中の腫瘍および頸部の手術を担当しております。頭頸部癌治療専門医としてこの地域のお役にたてればと思っております。佐藤は中耳手術のスペシャリストで、ほぼすべての耳の手術に対応可能です。また、新生児や小児の聴覚障害の治療も専門としています。もちろん成人の治療も得意としています。鼻の手術やいびきの治療は今まで通り積極的に行っていきます。当院に来ていただければ、例外的な症例を除いてほとんど対応可能なスタッフと自負しております。今後とも、中部ろうさい病院耳鼻咽喉科をよろしく願いいたします。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さんに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。